いしかれんだより

Web版『いしかれんだより』創刊号から最新号までを読むことができます。
私たちの時代に起きた出来事を記録し、後世へと伝えていくこと―

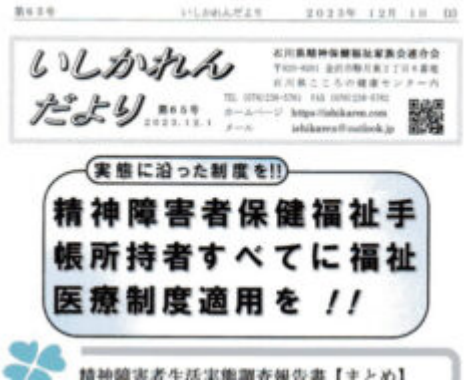
石家連創立**50**周年を記念し、困難を乗り越えてきた当事者とその家族の貴重な経験を集めました。その経験は、今を生きる私たちの社会を支える大切なリソース（資源）です。

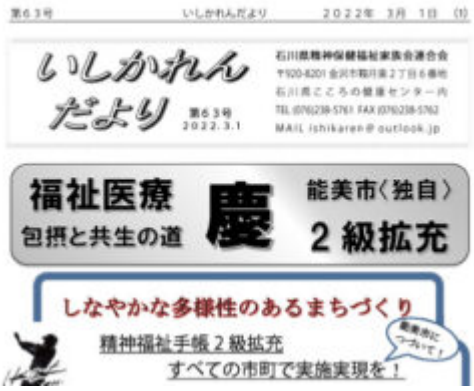
孤立の中で苦しむ家族に、希望の光を届けたい。今記録しておかなければ永遠に失われてしまう記憶をまとめた『いしかれんだより アーカイブ』を、公共の財産として公開します。
この**50**年の歩みを振り返り、新たな時代をともに生きるための道しるべとして―

私たちは、いしかわの大地を力強く跳ねていきます。

いしかれんだよりアーカイブス

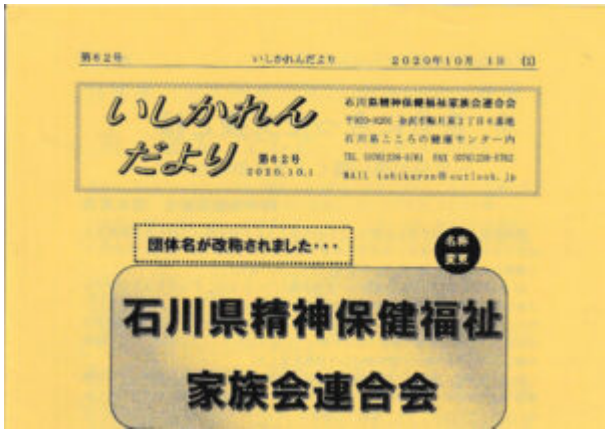
いしかれんだより第**66**号□**2025**年**3**月

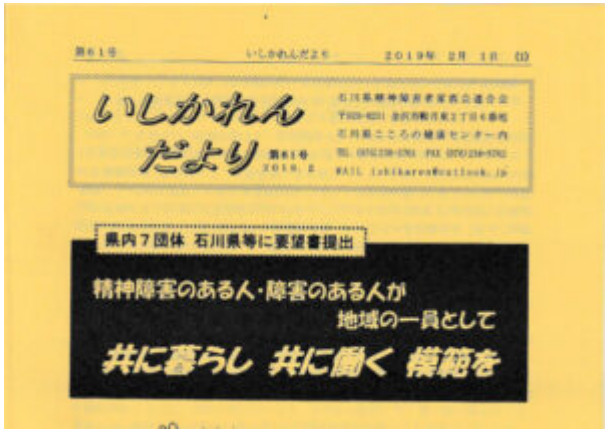




いしかれんだより第65号□2023年12月

いしかれんだより第64号□2022年12月

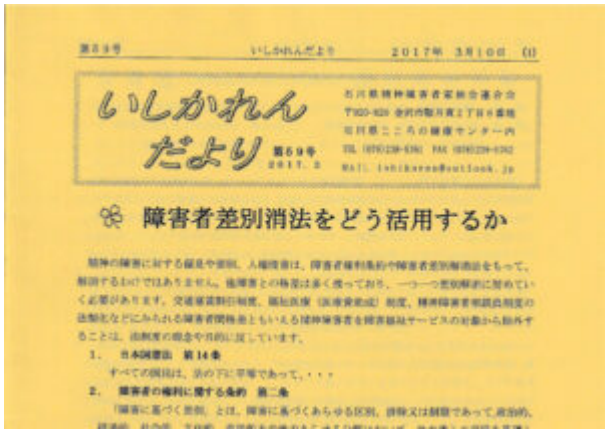


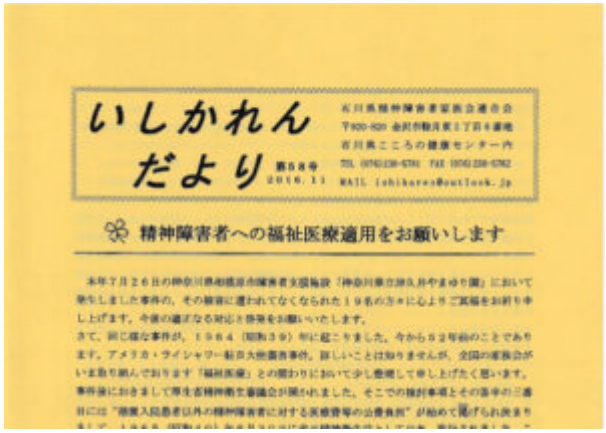


いしかれんだより第63号□2022年3月

いしかれんだより第62号□2020年10月

いしかれんだより第61号□2019年2月





いしかれんだより第60号□2017年6月

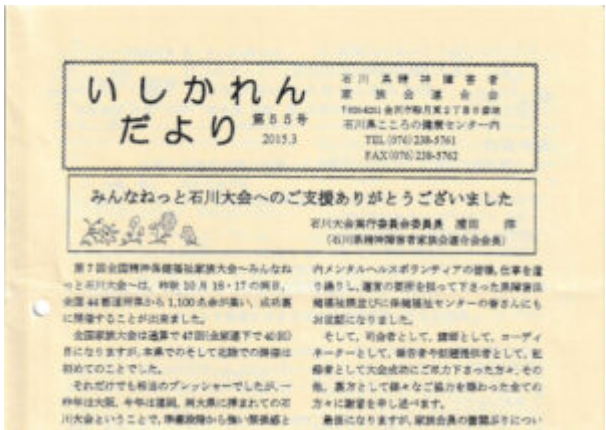
いしかれんだより
第59号
2017.3
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-820 金沢市駅月東1丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL (076)238-5761 FAX (076)238-5762
MAIL ishikaren@outlook.jp
障害者差別消法をどう活用するか
1. 日本国憲法 第14条
すべての国民は、法の下に平等であって、・・・
2. 障害者の権利に関する条約 第二条
「障害に基づく差別」とは、障害に基づくあらゆる区別、排除又は制限であって、政治的、

いしかれんだより第59号□2017年3月

いしかれんだより
第58号
2016.11
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-820 金沢市駅月東1丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL (076)238-5761 FAX (076)238-5762
MAIL ishikaren@outlook.jp
精神障害者への福祉医療適用をお願いします
本年7月26日の神奈川県相模原市障害者支援施設「神奈川県立津久井やまゆり園」において発生しました事件の、その被害に遭われてなくなられた19名の方々に心よりご冥福をお祈り申し上げます。今後の適正なる対応と措置をお願いいたします。
さて、同じ様な事件が、1964（昭和39）年に起こりました。今から52年前のことであります。アメリカ・ライシャワー駐日大使襲撃事件。詳しいことは知りませんが、全国の家族会がいま取り組んでおります「福祉医療」との関わりにおいて少し整理して申し上げたく思います。
事件後におきまして厚生省精神衛生審議会が開かれました。そこでの検討事項とその答申の三番目には"措置入院患者以外の精神障害者に対する医療費等の公費負担"が始めて

いしかれんだより第58号□2016年11月

いしかれんだより
第57号
2016.4
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市駅月東3丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762
「三本の矢」の一つは、精神の福祉医療
石家連 会長 中谷 貴宗
日頃より、精神に障がいのある人と私たち家族のために、温かい支援とご理解を賜り厚く感謝申し上げます。
さて、平成27年は障害者権利条約締約国、日本の第1回政府報告の取りまとめ、障害者差別解消法の対応要領・対応指針の作成および
自治体で条例が制定されているなかで、長崎県や京都府、お隣の富山県における条例は、差別解消法をバージョンアップして、上乗せ（法律を上回る規定）と横出し（法律にない規定）を盛り込んでいます。また、新潟県においては数年前から検討委員会が設けられ、



いしかれんだより第57号□2016年4月

いしかれんだより
第56号
2015.9

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

精神障がい者にも交通運賃の割引を

石家連会長　中谷賢宗

私こと、本年5月の総会において当会の会長に就任いたしました。今年度は、「他障害同等の交通運賃割引制度の運用を求める国会請願活動」に全力で対処していく所存です。「交通運賃の負担が大きく、外出を控えている」「外出を控えている人が、人並らしい楽しみや社会参加がしたい」というアンケート回答の声には、人々の心に響くものがあります。「交通運賃割引を」という全国の仲間の声を、この運動で実現しましょう。力を合わせて他障害同等の交通運賃割引制度の実現を！

現在「100万人全国署名運動」が各地で取り組まれています。励まし合い、支え合い、偏不況な交通運賃格差を是正する運動に私達家族会は最前線と立ち上がりました。皆様のご協力を心よりお願いいたします。皆様に配布したリーフレットの「障害者等に関する交通運賃割引制度の内容」を補足する

いしかれんだより第56号□2015年9月

いしかれんだより
第55号
2015.3

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

みんなねっと石川大会へのご支援ありがとうございました

石川大会実行委員会委員長　渡田　洋
（石川県精神障害者家族会連合会会長）

第7回全国精神保健福祉家族大会～みんなねっと石川大会～は、昨秋10月18・17の両日、全国44都道府県から1,100名余が集い、成功裏に開催することが出来ました。

全国家族大会は通算で47回(全国下で40回)目になりますが、本県でのそして北陸での開催は初めてのことでした。

それだけでも相当のプレッシャーでしたが、一昨年は大阪、今年は福岡、両大県に挟まれての石川大会ということで、準備段階から強い緊張感と

内メンタルヘルスボランティアの皆様、仕事を遣り繰りし、運営の要所を担って下さった県障害福祉課福祉課並びに保健福祉センターの皆さんにもお世話になりました。

そして、司会者として、講師として、コーディネーターとして、発表者や問題提供者として、記録者として大会成功にご尽力下さった方々、その他、裏方として様々なご協力を頂いた全ての方々に謝辞を申し述べます。

春遠になりますが、家族会員の皆様方をについ

いしかれんだより第55号□2015年3月

いしかれんだより
第54号
2014.3

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

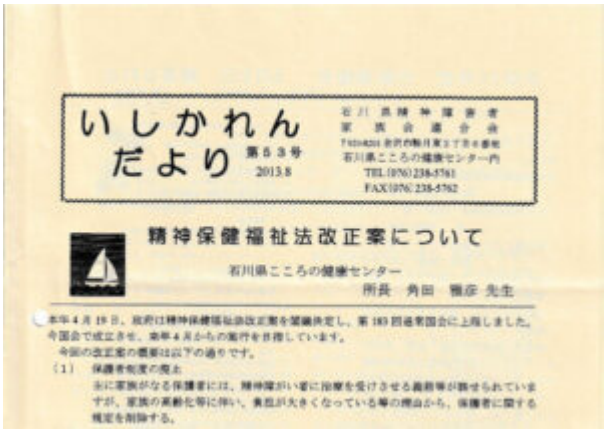
「みんなねっと石川大会」をご一緒に成功させましょう

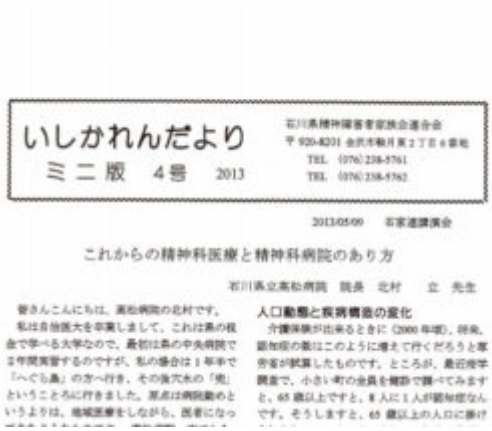
石川県精神障害者家族会連合会
会長　渡田　洋

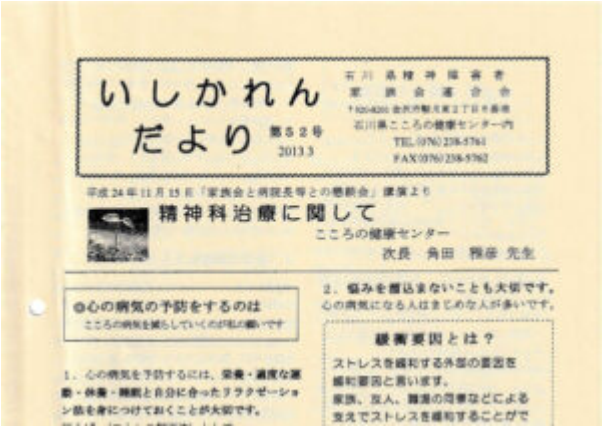
今年は、我が国で精神に障害のある人の家族会が誕生して50年、石家連結成40年の節目の年です。また、障害に因る差別をやめ、誰もが平等に暮らせる社会の実現をめざすことを、世界共通のルールにしようと謳う「障害者の権利に関する条約」を批准した年でもあります。

この記念すべき年に、第7回全国精神保健福祉家族大会～みんなねっと石川大会～を、金沢で開催できることを喜び合いたいと思います。

カ・ア　福祉や医療のさまざまな社会で生きていくには？　私たち家族への支援はどうなっていくのだろうか？　障害と付き合い、福祉サービスをお手伝いしている人の体験を聞きたい…など、3つのジャンルで語り合います。講師の宮岡修子さん、こころの健康センターの角田雅彦所長さんはじめ、各分野の著名な精神科医や実践家がコーディネートして下さいます。問題提起も県内だけでなく、北陸諸県、東京・大阪など全国から集まりますので







いしかれんだより第**54**号□**2014**年**3**月

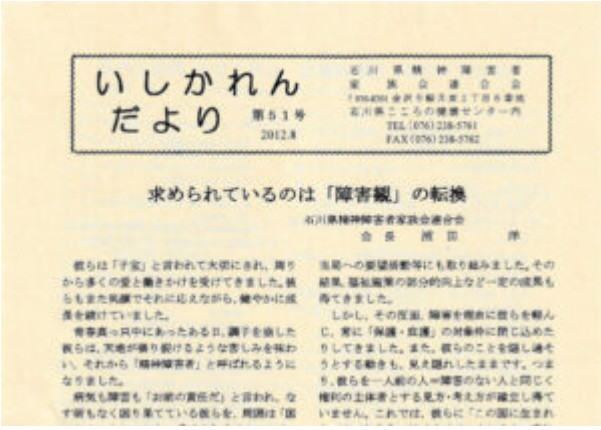
いしかれん
だより
第53号
2013.8
精神保健福祉法改正案について
石川県こころの健康センター
所長　角田　雅彦 先生

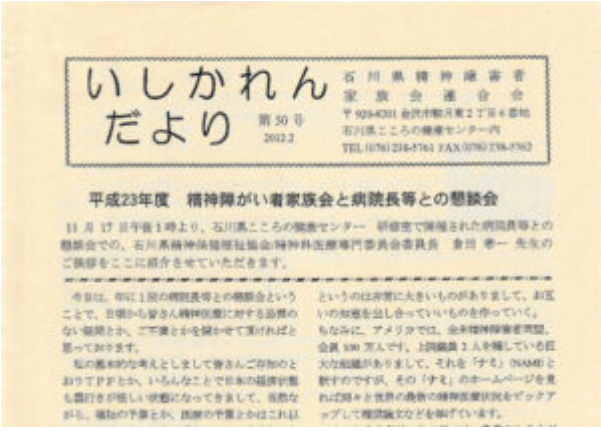
いしかれんだより第**53**号□**2013**年**8**月

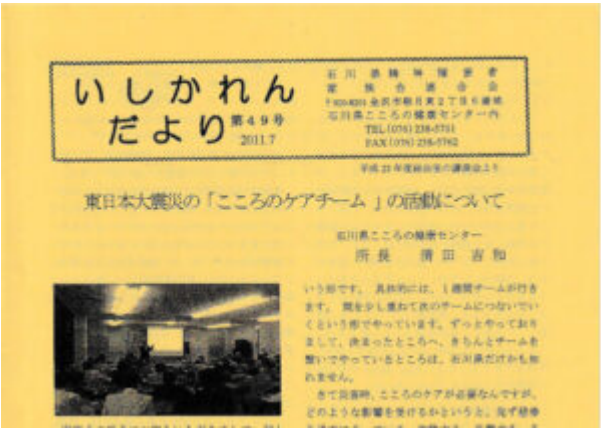
いしかれんだより
ミニ版　4号　2013
これからの精神科医療と精神科病院のあり方
石川県立高松病院　院長　北村　立 先生

いしかれんだよりミニ第**4**号□**2013**年**5**月

いしかれん
だより
第52号
2013.3
精神科治療に関して
こころの健康センター
所長　角田　雅彦 先生







いしかれんだより第52号□2013年3月

いしかれん だより 第51号 2012.8

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

求められているのは「障害観」の転換

石川県精神障害者家族会連合会
会長 浦田 洋

彼らは「子宝」と言われて大切にされ、周りから多くの愛と働きかけを受けてきました。彼らもまた周囲でそれに応えながら、穏やかに成長を続けていました。

青春真っ只中にあったある日、調子を崩した彼らは、天地が張り裂けるような苦しみを味わい、それから「精神障害者」と呼ばれるようになりました。

病気も障害も「お前の責任だ」と言われ、なす術もなく困り果てている彼らを、周囲は「医

生活への援護対策等にも取り組みました。その結果、福祉施策の部分的向上など一定の成果も得てきました。

しかし、その反面、障害を理由に彼らを囲んで、常に「保護・収容」の対象枠に閉じ込めたりしてきました。また、彼らのことを隠し通そうとする動きも、見え隠れしたままです。つまり、彼らを一人前の人＝障害のない人と同じく権利の主体者とする見方・考え方が確立し得ていません。これでは、彼らに「この国に生まれ

いしかれんだより第51号□2012年8月

いしかれん だより 第50号 2012.2

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL (076) 238-5761 FAX (076) 238-5762

平成23年度　精神障がい者家族会と病院長等との懇談会

11月17日午後1時より、石川県こころの健康センター　研修室で開催された病院長等との懇談会での、石川県精神保健福祉協会精神科医療専門委員会委員長　倉田 幸一 先生のご挨拶をここに紹介させていただきます。

今日は、年に1回の病院長等との懇談会ということで、日頃から皆さん精神疾患に対する治療のない疑問とか、ご不満とかを聞かせて頂ければと思っております。

私の基本的な考えとしまして皆さんご存知のとおりTPPとか、いろんなことで日本の経済状態も厳しさが増してきまして、当然ながら、福祉の予算とか、医療の予算とかはこれ以

というのは非常に大きいものがありまして、お互いの知恵を出し合っていいものを作っていく。

ちなみに、アメリカでは、全米精神障害者同盟、会員 100 万人です。上院議員 2 人を擁している巨大な組織がありまして、それを「すそ」（NAMI）と訳すのですが、その「すそ」のホームページを見れば隠れた世界の最新の精神医療状況をピックアップして専門論文などを掲げています。

いしかれんだより第50号□2012年2月

いしかれん だより 第49号 2011.7

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

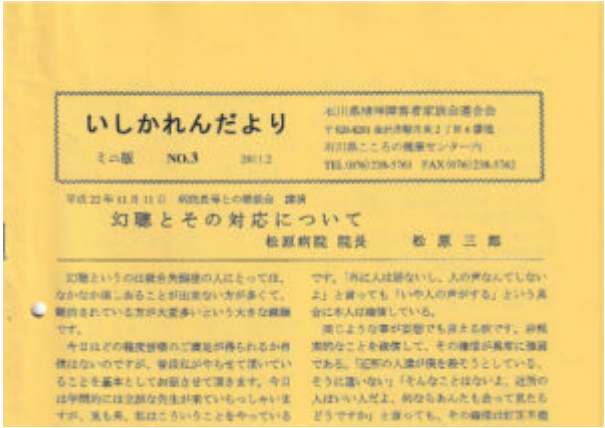
平成23年度総会後の講演会より

東日本大震災の「こころのケアチーム」の活動について

石川県こころの健康センター
所長　清田 吉和

いう形です。具体的には、1週間チームが行きます。間を少し置いて次のチームにつないでいくという形でやっています。ずっとやっておりまして、決まったところへ、きちんとチームを整いてやっていたところは、石川県だけかも知れません。

さて災害時、こころのケアが必要なんですが、どのような影響を受けるかというと、先ず感情



いしかれんだより第49号□2011年7月

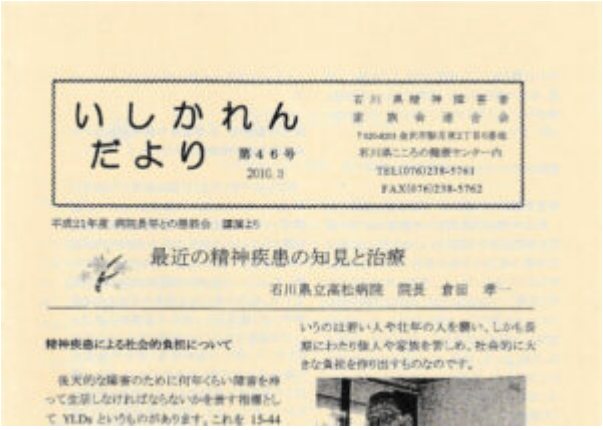
いしかれん だより
2011.2.
第48号
石川県精神障害者家族会連合会
石川県こころの健康センター内
TEL.(076)238-5761
FAX.(076)238-5762
平成22年11月11日「家族会と病院長等との懇談会」講演より
幻聴とその対応について
松原病院院長　松原三郎先生

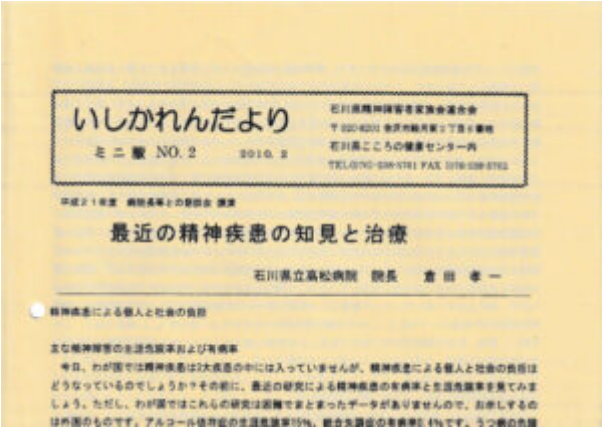
いしかれんだより第48号□2011年2月

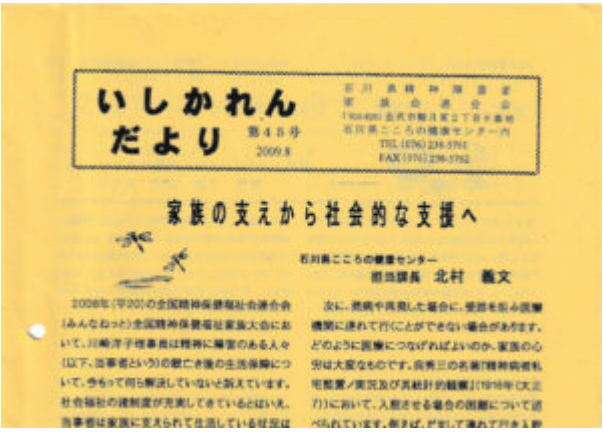
いしかれんだより
ミニ版　NO.3　2011.2
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL.(076)238-5761　FAX.(076)238-5762
平成22年11月11日　病院長等との懇談会　講演
幻聴とその対応について
松原病院 院長　松 原 三 郎

いしかれんだよりミニ第3号□2011年2月

いしかれん だより
第47号
2010.8
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL.(076)238-5761　FAX.(076)238-5762
会長辞任にあたり
石川県精神障害者家族会連合会
前会長理事相談役　梶　昌伸







いしかれんだより第47号□2010年8月

いしかれん
だより
第46号
2010.3
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目8番地
石川県こころの健康センター内
TEL(076)238-5761
FAX(076)238-5762
平成21年度 病院長等との懇談会 講演より
最近の精神疾患の知見と治療
石川県立高松病院 院長 倉田 孝一
精神疾患による社会的負担について
後天的な障害のために何年くらい障害を持って生活しなければならないかを表す指標として YLDs というものがあります。これを 15-44 いうのは若い人や壮年の人を襲い、しかも長期にわたり個人や家族を苦しめ、社会的に大きな負担を作り出すものなのです。

いしかれんだより第46号□2010年3月

いしかれんだより
ミニ版 NO. 2
2010. 2
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目8番地
石川県こころの健康センター内
TEL(076)238-5761 FAX(076)238-5762
平成21年度 病院長等との懇談会 講演
最近の精神疾患の知見と治療
石川県立高松病院 院長 倉田 孝一
精神疾患による個人と社会の負担
主な精神障害の生涯危険率および有病率
今日、わが国では精神疾患は3大疾患の中には入っていませんが、精神疾患による個人と社会の負担はどうなっているのでしょうかその前に、最近の研究による精神疾患の有病率と生涯危険率を見てみましょう。ただし、わが国ではこれらの研究は困難でまとまったデータがありませんので、お示しするのは外国のものです。アルコール依存症の生涯危険率5%、統合失調症の有病率1.4%です。うつ病の負担

いしかれんだよりミニ第2号□2010年2月

いしかれん
だより
第45号
2009.8
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目8番地
石川県こころの健康センター内
TEL(076)238-5761
FAX(076)238-5762
家族の支えから社会的な支援へ
石川県こころの健康センター
前主任課長 北村 義文
2008年(平20)の全国精神保健福祉社会連合会(みんなねっと)全国精神保健福祉家族大会において、川崎洋子相事長は精神に障害のある人々(以下、当事者という)の親亡き後の生活保障について、今もって何ら解決していないと訴えています。社会福祉の諸制度が充実してきているとはいえ、当事者は家族に支えられて生活している状況は
次に、発病や再発した場合に、受診を拒み医療機関に連れて行くことができない場合があります。どのように医療につなげればよいのか、家族の心労は大変なものです。病秀三の名著「精神病者私宅監置ノ実況及ビ其統計的観察」(1918年(大正7))において、入院させる場合の問題について述べられています。例えば、どうして連れて行き入院

いしかれんだより第45号□2009年8月

いしかれんだより

ミニ版 No. 1 2008.12.

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL(076)238-5761 FAX(076)238-5762

家族会と病院長等との懇談会が開かれました

懇談会の始まりは金沢大学大学院 長澤敏也先生（写真・立っている人）から『精神疾患の治療と回復』のテーマでお話がありました。その後に質疑応答があり、ようすをお知らせします。

開催日 平成20年11月13日
場 所 石川県こころの健康センター研修室

☆ は病院からのお話です。

①以前の懇談会において第三世代の薬「エビリファイ等」の説明を聞きましたが、その後の効果についてどのような評価、評判をされているのでしょうか。

☆大学病院では、最近2年間の１１０症例について調べた。エビリファイは、夜、眠りにくくなる（眠まさんもいて、うまくこのエビリファイが飲み続けられないことがある。エビリファイ錠を半

いしかれんだよりミニ第1号□2008年12月

いしかれんだより

第43号
2008. 8

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL(076)238－5761
FAX(076)238－5762

【巻頭言】

精神障碍者福祉を考える

石川県こころの健康センター
精 清田吉和

稿を始めるにあたり、先日、不慮の事故で亡くなられた輪水会会長の山岸義明氏のご冥福をお祈りいたします。

の文部が変わらなければ当事者や家族者の交代により、また事態が変化していく可能性があります。障碍者福祉の中でも取り組みが遅れているといわれる精神障碍者の保健福祉を後退させないためにも家族の方の力と連携が必要です。地域における社会資源の整備にしても能隊質

いしかれんだより第43号□2008年8月

いしかれんだより

第42号
2008. 3

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL(076)238－5761
FAX(076)238－5762

【巻頭言】

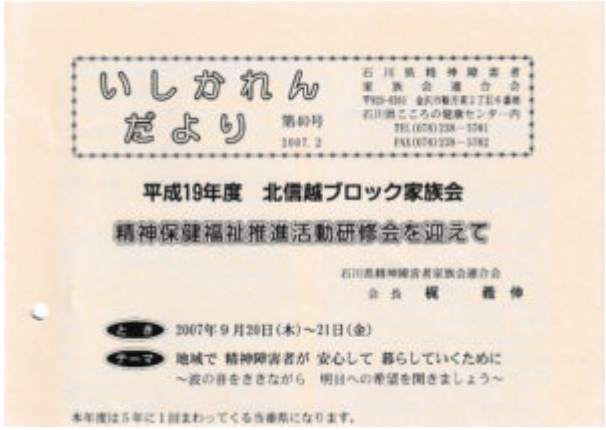
「みんなねっと」の活動
－家族の状況を変えるために－

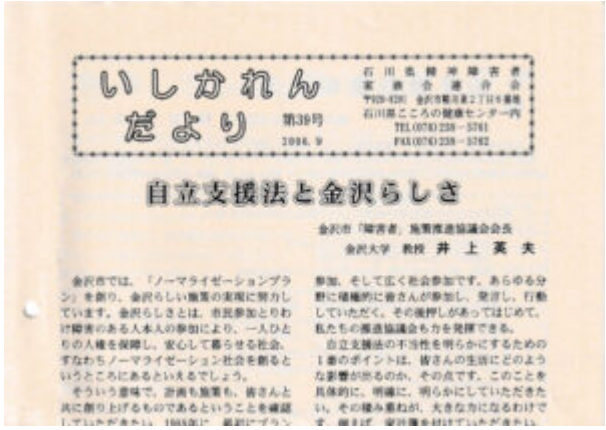
特定非営利活動法人 全国精神保健福祉会連合会
理事長 川崎洋子

昨年の5月に「発会式」を行い、全国の家族の皆様のご支援をいただき、会員構成は45の都道府県連が正会員、約13,000人の方々が賛

は、いま、重要な時期にあると考えます。社会の変化に伴い、法律も変わり、施策も増えてきております。しかし、家族のおかれている状況は変わってきたでしょうか。残念ながら何も変わっていないのが現状です。

精神的にも経済的にも親から自立した生





いしかれんだより第42号□2008年3月

いしかれん だより 第41号 2007.12

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0351 金沢市観音堂2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL(076)238-5701
FAX(076)238-5702

平成19年度
「北信越ブロック家族会精神保健福祉促進活動研修会」
実行委員長を終えて

石川県精神障害者家族会連合会
会長 梶 義伸

本年度は石川県が当番県で、去る9月20日・21日、一泊二日で和倉温泉加賀屋において「精神に障がいのある人が地域で安心して暮らして

た。基調講演「今日の精神科医療と地域生活支援」と題して、日本精神科病院協会常務理事で医療法人財団松原愛育会松原病院理事長 松原三郎様のお話で、進歩している最近の精神医療の現状と様々な地域生活支援の方向性を具体的に親切なお話をいただきました。参加者は深い感銘と今後の指

いしかれんだより第41号□2007年12月

いしかれん だより 第40号 2007.2

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0351 金沢市観音堂2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL(076)238-5701
FAX(076)238-5702

平成19年度 北信越ブロック家族会
精神保健福祉推進活動研修会を迎えて

石川県精神障害者家族会連合会
会長 梶 義伸

日時 2007年9月20日(木)～21日(金)
テーマ 地域で 精神障害者が 安心して 暮らしていくために
～波の音をききながら 明日への希望を聞きましょう～

本年度は5年に1回まわってくる当番県になります。

いしかれんだより第40号□2007年2月

いしかれん だより 第39号 2006.9

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0351 金沢市観音堂2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL(076)238-5701
FAX(076)238-5702

自立支援法と金沢らしさ

金沢市「障害者」施策推進協議会会長
金沢大学 教授 井上英夫

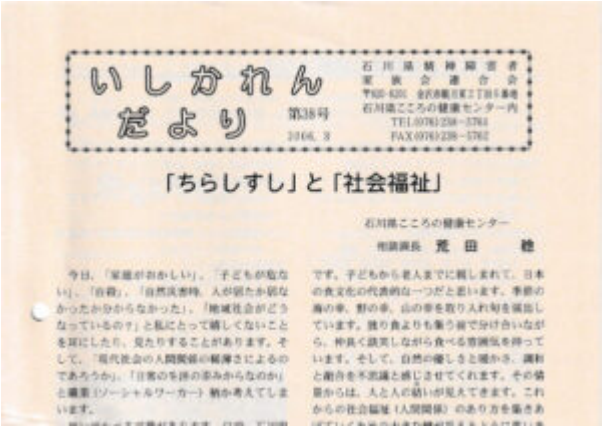
金沢市では、「ノーマライゼーションプラン」を創り、金沢らしい施策の実現に努力しています。金沢らしさとは、市民参加とわけ障害のある人本人の参加により、一人ひとりの人権を保障し、安心して暮らせる社会、すなわちノーマライゼーション社会を創るというところにあるといえるでしょう。

そういう意味で、計画も施策も、皆さんと共に創り上げるものであるということを確認していただきたい。1993年に、最初にプラン

参加、そして広く社会参加です。あらゆる分野に積極的に皆さんが参加し、発言し、行動していただく、その保障があってはじめて、私たちの推進協議会も力を発揮できる。

自立支援法の不当性を明らかにするための1番のポイントは、皆さんの生活にどのような影響が出るのか、その点です。このことを具体的に、明確に、明らかにしていただきたい。その積み重ねが、大きな力になるわけです。例えば、実態調査を行っていただきたい

いしかれんだより第39号（2006年9月）



いしかれんだより 第38号 2006. 3

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL.0762-238-5761
FAX.0762-238-5762

「ちらしずし」と「社会福祉」

石川県こころの健康センター
相談課長 荒田 稔

今日、「家族がおかしい」、「子どもが危ない」、「自殺」、「自然災害時、人が弱たか弱なかったかわからなかった」、「地域社会がどうなっているの？」と私にとって嬉しくないことを耳にしたり、見たりすることがあります。そして、「現代社会の人間関係の稀薄さによるのであろうか」、「日常の生活の歪みからなのか」と職業（ソーシャルワーカー）柄か考えてしまいます。

です。子どもから老人までに親しまれて、日本の食文化の代表的な一つだと思います。季節の海の幸、野の幸、山の幸を取り入れ旬を演出しています。独り食よりも集う席で分け合いながら、仲良く談笑しながら食べる雰囲気を持っています。そして、自然の優しさと暖かさ、調和と融合を不思議と感じさせてくれます。その情景からは、人と人の結いが見えてきます。これからの社会福祉（人間関係）のあり方を集さあ

いしかれんだより第38号（2006年3月）

いしかれんだより 第37号 2005. 8

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL.0762-238-5761
FAX.0762-238-5762

石家連だよりによせて

加賀神経サナトリウム
院長 菊知 聡雄

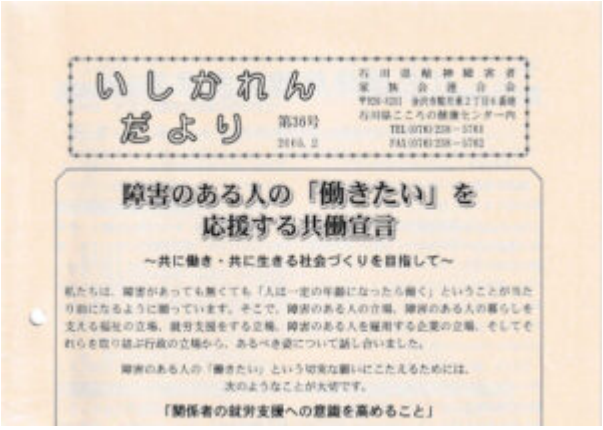
精神障害者家族会の皆様は色々の悩みを持ち苦労をしながら長年を耐え忍んでこられました。障害者が自立できない悩み、親の親亡の

ついて語っておられる姿を拝見した時には状況の変化に感動を通り越して衝撃を覚えたものでありました。

之まで家族会の果たしてこられた役割や直面する課題は色々あります。

今までロに出せなかった悩みをお互いに話し合うだけでなくという所属は、地域

いしかれんだより第37号（2005年8月）



いしかれんだより 第36号 2005. 2

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL.0762-238-5761
FAX.0762-238-5762

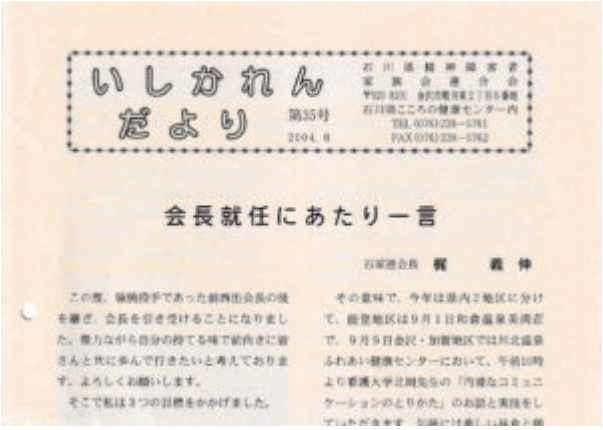
障害のある人の「働きたい」を応援する共働宣言

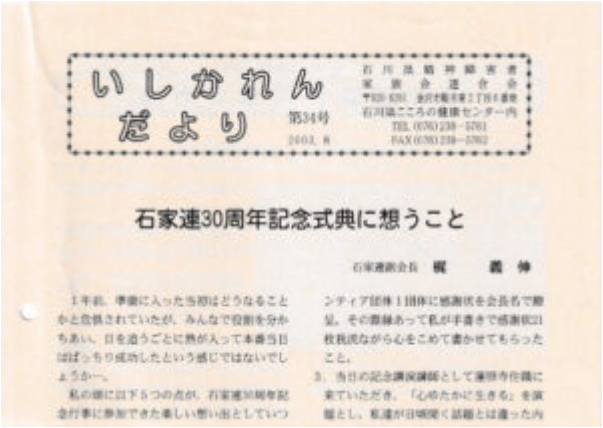
～共に働き・共に生きる社会づくりを目指して～

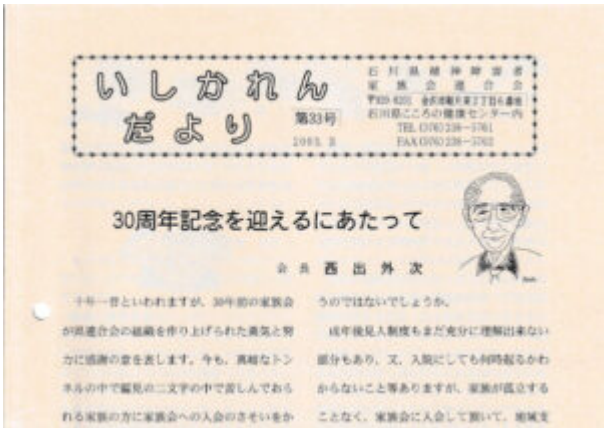
私たちは、障害があっても無くても「人は一定の年齢になったら働く」ということが当たり前になるように願っています。そこで、障害のある人の立場、障害のある人の暮らしを支える福祉の立場、就労支援をする立場、障害のある人を雇用する企業の立場、そしてそれらを取り結ぶ行政の立場から、あるべき姿について話し合いました。

障害のある人の「働きたい」という切実な願いにこたえるためには、
次のようなことが大切です。

「関係者の就労支援への意識を高めること」







いしかれんだより第**36**号□**2005**年**2**月

いしかれん だより 第35号 2004. 8

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL 0076(238)-3761
FAX 0076(238)-3762

会長就任にあたり一言

石家連会長 梶 義伸

この度、強烈投手であった前西出会長の後を継ぎ、会長を引き受けることになりました。微力ながら自分の持てる味で前向きに皆さんと共に歩んで行きたいと考えております。よろしくお願いします。

そこで私は3つの目標をかかげました。

その意味で、今年は県内2地区に分けて、能登地区は9月1日和倉温泉美湾荘で、9月9日金沢・加賀地区では川北温泉ふれあい健康センターにおいて、午前10時より看護大学北岡先生の「円滑なコミュニケーションのとりかた」のお話と実践をしていただきます。

いしかれんだより第**35**号□**2004**年**8**月

いしかれん だより 第34号 2003. 8

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL 0076(238)-3761
FAX 0076(238)-3762

石家連30周年記念式典に想うこと

石家連前会長 梶 義伸

1年前、準備に入った当初はどうなることかと危惧されていたが、みんなで役割を分かちあい、日を追うごとに熱が入って本番当日はばっちり成功したという感じではないでしょうか。

私の頭には以下5つの点が、石家連30周年記念行事に参加できた楽しい思い出としていつ

ンティア団体1団体に感謝状を会長名で贈呈。その際あって私が手書きで感謝状21枚我流ながら心をこめて書かせてもらったこと。

3、当日の記念講演講師として蓮照寺住職に来ていただき、「心やたかに生きる」を演題とし、私達が日頃聞く話題とは違った内

いしかれんだより第**34**号□**2003**年**8**月

いしかれん だより 第33号 2003. 3

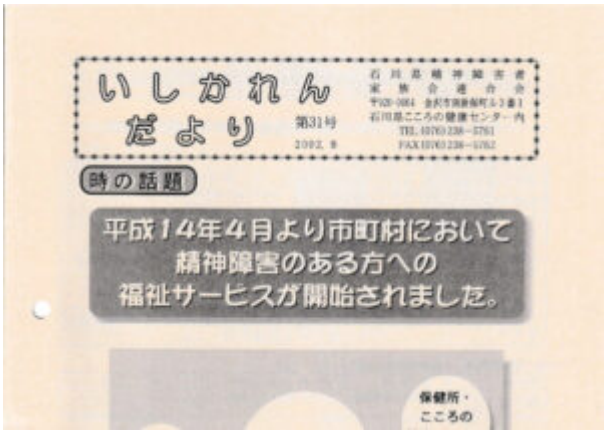
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL 0076(238)-3761
FAX 0076(238)-3762

30周年記念を迎えるにあたって

会長 西出外次

十年一昔といわれますが、30年前の家族会が県連合会の組織を作り上げられた勇気と努力に感謝の意を表します。今も、真暗なトンネルの中で偏見の二文字の中で苦しんでおられる家族の方に家族会への入会のさそいをかうのではないでしょうか。

成年後見人制度もまだ充分に理解出来ない部分もあり、又、入院にしても何時起るかわからないこと等ありますが、家族が孤立することなく、家族会に入会して頂いて、地域支



いしかれんだより第33号□2003年3月

いしかれんだより第32号□2002年12月

いしかれんだより第31号□2002年8月

いしかれんだより第30号□2002年3月

いしかれん だより
第29号
2001. 12
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0064 金沢市小坂新保町13番1
石川県こころの健康センター内
TEL 076(238-3761
FAX 076(238-3762
巻頭言
平成13年度
北信越ブロック家族会精神保健福祉
推進活動研修会実行委員長を終えて
梶 義伸
本年度は石川県が当番県で、去る9月20日(木)～22日(土)に山代温泉ゆのくに天祥において「当町村とともに

いしかれんだより第29号□2001年12月

いしかれん だより
第28号
2001. 7
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0064 金沢市小坂新保町13番1
石川県こころの健康センター内
TEL 076(238-3761
FAX 076(238-3762
巻頭言
家族会と作業所
石川県健康福祉部障害保健福祉課
課長 林 哲夫
石川県に最初の精神障害者小規模作業所が設置されたのは、昭和61年です。
その後、各地域に作業所が設置され、現在15か所となっております。
県では、平成8年に社会復帰施設等の整備目標を盛り込んだ「石川障害者プラン」を策定し、整備を進めているところであります。
また、指定施設でない作業所への支援策として、運営費や通所交通費の助成を行っております。

いしかれんだより第28号□2001年7月

いしかれん だより
第27号
2001. 3
石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0064 金沢市小坂新保町13番1
石川県精神保健福祉センター内
TEL 076(238-3761
FAX 076(238-3762
巻頭言
当事者を中心にネットワークのある作業所活動推進
－家族会と共に－
石川県精神障害者小規模作業所連絡協議会
会長 三谷昭子
新年、明けましておめでとうございます。
いよいよ21世紀となり、様々な問題を持ち越しながらも、輝かしい未来が待っているようで気持ちも明るくなってきます。
指して、又、自分達の資質の向上を目指して活発に意見交換がなされています。どの会員も、個性豊かで素晴らしい人達ばかりです。
作業所は働く者にとって最適な立場にありますが、個性を発揮できる職場といえるでしょう。
今後、小規模授産施設への法人化、介護保

いしかれんだより第27号□2001年2月

400部

いしかれん だより 第26号 2001.11

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0961 金沢市御影町5-3番1
石川県精神保健福祉センター内
TEL 0761-238-5761
FAX 0761-238-5762

巻頭言

矢田野ファクトリー 5ヶ月の歩み

精神障害者福祉工場矢田野ファクトリー
施設長 梶 善伸

社会福祉法人共友会精神障害者福祉工場矢田野ファクトリーが5月9日にオープンし、約5ヶ月を経過いたしました。仕事の内容は主として小松市近辺の宿泊ホテルのタオル・シーツ等のクリーニングをしております。

この頃です。

一人でも多く受け入れたい、という思いにかられますものの、福祉工場は就労の場という一つの機能を担い、一般労働者と変わらない立場が保障される施設であります。そのため採用試験にかわる体験利用（職務試行）や実習を行った上で、従業員としての採用・不採用を決定しております。同時に利用を希望

いしかれんだより第26号□2000年11月

いしかれん だより 第25号 2000.8

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0961 金沢市御影町5-3番1
石川県精神保健福祉センター内
TEL 0761-238-5761
FAX 0761-238-5762

巻頭言

なごみの郷のスタートにあたって

～木のぬくもり、笑顔、コーヒーの香り～

なごみの郷施設長
中 田 なみ子

社会福祉法人なごみの郷が運営する精神障害者社会復帰施設（福祉ホームなごみ、地域生活支援センターなごみ、通所授産施設つばさ）がオープンして早8ヶ月が過ぎました。

毎日です。

なごみの郷は家族会（くろゆり会）はじめボランティア、当事者、行政、その他多くの人々の思いの詰まった施設です。建物の間取りを決めたり、お風呂場のタイルの色、照明器具、家具、一つ一つできるかぎりみんなで話し合って決めてきました。まさしく手作り

いしかれんだより第25号□2000年8月

いしかれん だより 第24号 2000.2

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0961 金沢市御影町5-3番1
石川県精神保健福祉センター内
TEL 0761-238-5761
FAX 0761-238-5762

巻頭言

バリアフリー社会推進賞を受賞して

くろゆり作業所を支える会
会長 田 中 良 弘

石川県バリアフリー社会の推進に関する条例の定めるところにより、昨年度第1回石川県バリアフリー社会推進貢献個人部門受賞の栄誉に浴したことは、全く面映ゆい限りです。

誰が？何故にそしてバリアフリーに相当するのか問われたところです。

私達支える会の役割は“心病む人への正しい理解と協力”“心に優しい街づくり”ですので「バリアフリー社会の推進に関する条例」を意識しての活動でもなく、条例のあることすら知らなかったので「表彰する」との内報のあったときは面食らったといっても嘘では

いしかれんだより第24号□2000年2月

いしかれん だより
第23号
1999. 9
巻頭言
会長に就任して
西出外次
今年は例年にない猛暑続きでしたが会員の皆さんお元気ですか。
林会長死去の後任の選挙、ノーマライゼーション、地域の皆さんとの交流活動の推進等、ソフト面でも課題は山積みしております。また、6月23日総会の場での質疑等も真剣に受け止めて対処してゆきたいと思っております

いしかれんだより第23号□1999年9月

いしかれん だより
第22号
1999. 2
巻頭言
社会参加と家族会
清田吉和
石川県精神保健福祉センター
石川県精神保健福祉センターに来てようやく10カ月が過ぎようとしています。この間、家族会の皆様方とお会いする機会も増え、精神障害者の社会参加について深く考えさせられ
欠々となされております。しかし、そのそで新規会員の定着の不足、家族会々員の高齢化、特殊的・経済的・精神的負担の増加などの問題もみられます。家族会々員が憩の、合掌のない状態となり、障害者自身を含めての家族関係が、強うつめたものにならなければよいかと考えたりもいたします。家族会活動の原点である、自助グループとしての家族会の在り方を見つめ直

いしかれんだより第22号□1999年2月

いしかれん だより
第21号
1998. 11
巻頭言
家族会にかかわった13年間の想い出
梅田英広
私が家族会にかかわりを持って早13年になります。楽しく家族会に入られる方は「今の私は
こんです。
さて、家族にかかわる思い出を少し述べます。
私が最初に参加した全国大会は平成2年10月鹿本市で行われ、テーマは「家族の社会化は社会を変える」でした。参加者は石川県からうまでした。その時私も同じ様に悩んでいる家族会の中で参加者の発言が「――大勢の障害者の為に頑張り続けているので、いつか家族についても何かの発見があるかもしれません。」と述べた

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0941 金沢市南新保町ホ3番1
石川県精神保健福祉センター内
TEL (076) 238-3701
FAX (076) 238-3702

いしかれんだより第21号□1998年10月

いしかれん だより 第20号 1998. 2

石川県精神障害者家族会連合会
〒920-0854 金沢市御影町6-3番1号
石川県精神保健福祉センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

巻頭言 家族会とともに

金沢市保健所
所長 櫻井 登

新しい年を迎え、家族会の皆様には、如何お過ごしのことでしょうか。

昨年は、変革の時代を実感させる、様々な出来事が起こりました。金沢市でも、4月に組織改編を行い、新たに泉野、元町、駅西の各福祉保健センターを設置し、三つの保健所を

しながら、策定していますので、具体的で漏りのない計画が策定され、これからの精神障害者保健福祉が一層推進されていくものと確信をしています。同時に、これは、平成5年に改正された障害者基本法が、目に見える形を取って、その姿の一つを現してきたものだとも感じているところであります。

厚生省の方では、昨年12月、障害者関係3審議会の合同部会が、障害者福祉施策の今後の在り方について中間報告を行っています。この

いしかれんだより第20号□1998年2月

いしかれん だより 第19号 1997. 9

石川県精神障害者家族会連合会
〒920 金沢市御影町6-3番1号
石川県精神保健福祉センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

巻頭言 「家族会のこれからは」

石川県
前会長 宮井 實

精神障害者の医療、保健福祉が充実されつつある今日ですが、平成7年に精神保健福祉法に改正されてからは、いっそう県や精神保健福祉センターが積

ました。

私達は「小規模作業所」とは？の発足当時を思い「単に社会に帰る所ではなく、心の自立を促し病気の再発防止のための重要な場所である」と言うことを心に留める必要があります。メンバー達の願いを指導員、家族が一緒に考え悩んで、共に生きる努力を重ねて行きたい。ま

いしかれんだより第19号□1997年9月

いしかれん だより 第18号 1997. 3

石川県精神障害者家族会連合会
〒920 金沢市御影町6-3番1号
石川県精神保健福祉センター内
TEL (0762) 38-5761
FAX (0762) 38-5762

巻頭言 「家族会活動に期待すること」

石川県小松保健所
所長 水腰 久美子

ある日突然に、それまで順調に学校生活や社会生活を送っていた我が子が、心の病におかされていることを知った時の家族の思い。それは経験した人でないと理解できない深刻な体験なのだろうと思います。どうして我が家にそんなことが起こるのか理解できない、遺伝

な時、私はいつも1人の精神科医として病気を完全に治してあげられない無力感を感じたものでしたし、一方でこの病気の根の深さを痛感させられたり、精神障害者福祉の立ち後れに対して何とかしなければと思ったりしました。しかし、医師になってから約30年近い年月を経た今振り返ってみると、いろんな意味で進歩したというか、隔世の感さえ抱くこの頃です。精神保健福祉法の成立、障害者基本法の制定等の法整備の面もさることながら、全家連のたゆまぬ努

いしかれんだより第18号□1997年3月

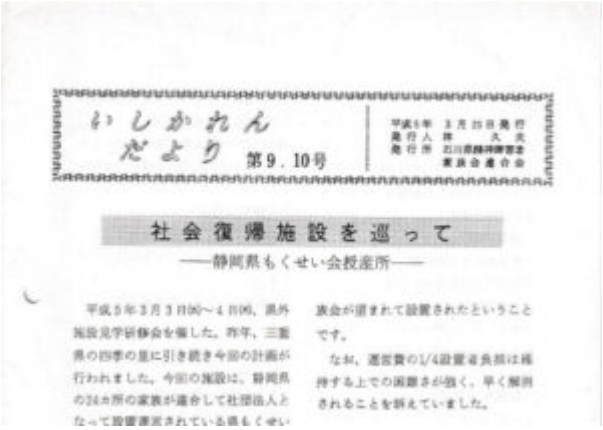
いしかれん だより
第17号
1996. 11
「私と家族会」
けやきの森家族会
会長 樋谷徳子

いしかれんだより第17号□1996年11月

いしかれん だより
第16号
1996. 2
巻頭言
「家族会に期待するもの」
石川県精神保健福祉センター
所長 加藤佐敬

いしかれんだより第16号□1996年2月

いしかれん だより
第15号
1995. 10
巻頭言
「家族会と作業所について」
石川県精神障害者家族会連合会前会長(心得会会長) 宮井 薫



いしかれんだより第15号□1995年10月

いしかれん だより 第13-14号 1995.2

石川県精神障害者家族会連合会
〒920 金沢市泉野町ハ3番1号
石川県精神保健センター内
TEL (0762) 38-5761
FAX (0762) 38-5762

最近の家族会の流れから

石川県精神障害者家族会連合会
会長 林 久夫

私が、石家連の会長に就任してから早2期目を終わろうとしています。これ一重に県下の単位家族会の皆様の御足力と御理解の賜物と深く感謝しています。

この1年のあいだに精神保健法の改正に加えて障害者基本法が成立し、精神障害者の他の障害者と同じく福祉の対象として法的に認

施策の推進が求められています。このため身体障害、精神薄弱及び精神障害の各分野における障害者保健福祉施策推進本部を設置することとなったものです。

次に厚生省が来年度精神保健法の改正を予定していることです。医療費の公費負担の見直し、精神障害者手帳の導入などが主な柱で

いしかれんだより第13-14号□1995年2月

いしかれん だより 第11・12号

平成6年 3月15日発行
発行人 林 久夫
発行所 石川県精神障害者家族会連合会

家族が明日に向かってめざすこと

石川県精神障害者家族会連合会
会長 林 久夫

私は、石川県精神障害者家族会連合会（以下石家連という）の会長に就任してから早3年が過ぎました。責任の重大さを痛感しています。そして、石家連活動に対して県下の単会家族会の皆様の御足力と御理解に深く感謝しています。

全国精神障害者家族会連合会（以下

位置づけられています。国は、障害者施策に関する計画を策定することになり、都道府県、市町村は計画を策定するように努めることになっています。

家族の思いは、親なき後『子供はどうなるだろうか』と毎日悩み考えているものです。身近な所に住まいがあり、いつでも相談できる医者がいて、身近

いしかれんだより第11-12号□1994年3月

いしかれん だより 第9．10号

平成5年 3月15日発行
発行人 林 久夫
発行所 石川県精神障害者家族会連合会

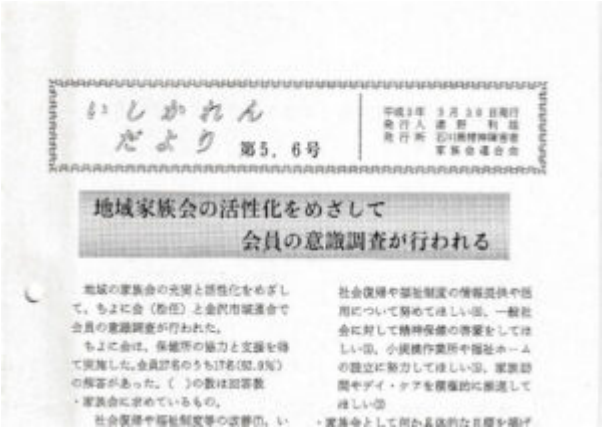
社会復帰施設を巡って

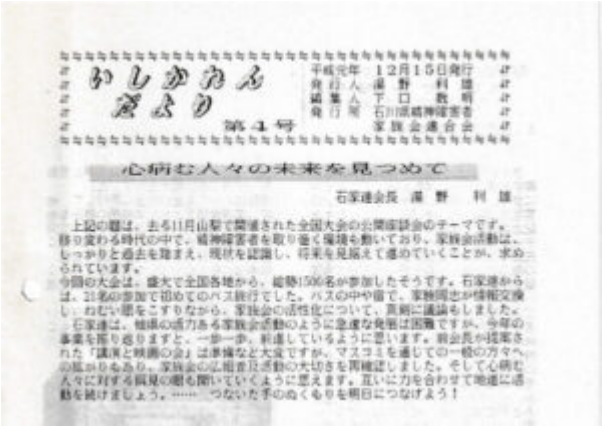
——静岡県もくせい会授産所——

平成5年3月3日(水)～4日(木)、県外施設見学研修会を催した。昨年、三重県の四季の里に引き続き今回の計画が行われました。今回の施設は、静岡県の24カ所の家族が連合して社団法人となって設置運営されている県もくせい

族会が建まれて設置されたということです。

なお、運営費の1/4設置者負担は維持する上での困難さが強く、早く解消されることを訴えていました。





いしかれんだより第9-10号□1993年3月

いしかれんだより
第7．8号

平成4年 3月30日発行
発行人 林 久夫
発行所 石川県精神障害者家族会連合会

❋❋❋ 社会復帰活動の促進を望む ❋❋❋

—県への請願採択される—

私は，平成3年4月より石川県精神障害者家族会連合会会長に選任されました。責任の重大さに身が引き締まる思いです。

さて，精神障害者の場合には，治癒を要する病者であると同時に，社会生活を営んでいく上で生活の困難，不自由，不利益を有する障害者であるということを理解しなければならない。すなわち「病気と障害」が共存しているということを十分に認識する必要があります。その上

夫県議員を紹介議員にお願いして，石川県議長宛請願書を提出しました。請願は採択され，新しい一歩を踏み出したことになります。

内容は，精神科デイケア施設と社会復帰施設（精神障害者援護寮，精神障害者福祉ホーム，精神障害者通所授産施設）を併せた石川県精神障害者社会復帰センターの設置を中心としたものです。

社会復帰施設は，精神保健法で明文化

いしかれんだより第7-8号□1992年3月

いしかれんだより
第5，6号

平成3年 3月30日発行
発行人 遠野 利雄
発行所 石川県精神障害者家族会連合会

地域家族会の活性化をめざして
会員の意識調査が行われる

地域の家族会の充実と活性化をめざして，もよに会（松任）と金沢市城連合で会員の意識調査が行われた。

もよに会は，保健所の協力と支援を得て実施した。会員計名のうち17名(82.9%)の解答があった。（ ）の数は回答数

・家族会に求めているもの。

社会復帰や福祉制度等の改善点，い

社会復帰や福祉制度の情報提供や活用について努めてほしい②，一般社会に対して精神保健の啓蒙をしてほしい③，小規模作業所や福祉ホームの設立に努力してほしい④，家族訪問やデイ・ケアを積極的に推進してほしい⑤

・家族会として何か具体的な目標を掲げ

いしかれんだより第5-6号□1991年3月

いしかれんだより
第1号

平成元年 12月15日発行
発行人 遠野 利雄
編集人 下口 敦明
発行所 石川県精神障害者家族会連合会

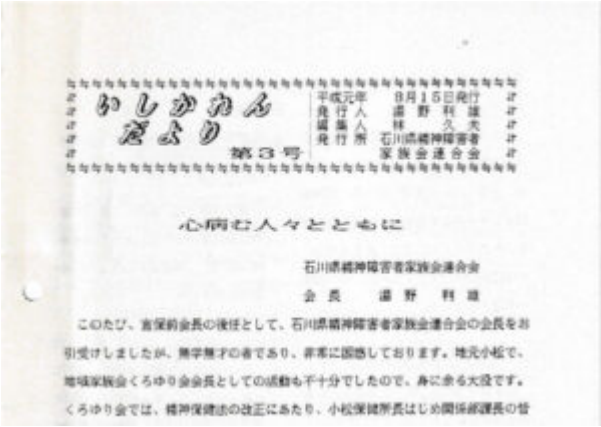
心病む人々の未来を見つめて

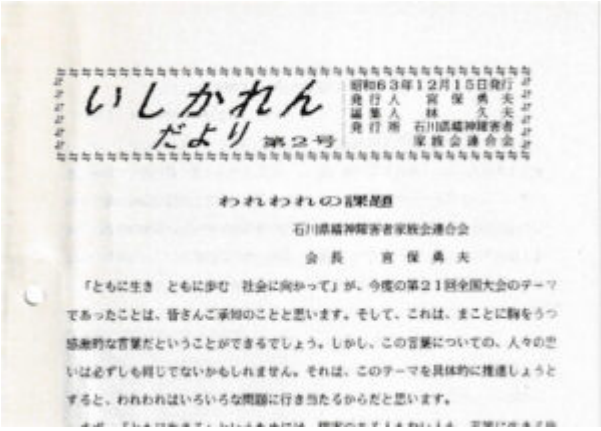
石家連会長 遠野 利雄

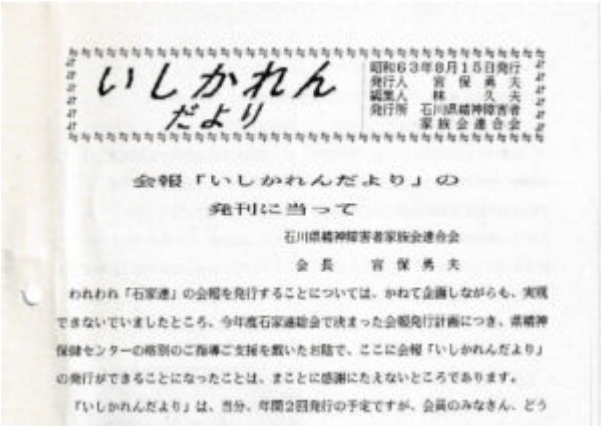
上記の題は，去る11月山梨で開催された全国大会の公開座談会のテーマです。移り変わる時代の中で，精神障害者を取り巻く環境も動いており，家族会活動は，しっかりと過去を踏まえ，現状を認識し，将来を見据えて進めていくことが，求められています。

今回の大会は，盛大で全国各地から，総勢1500名が参加したそうです。石家連からは，21名の参加で初めてのバス旅行でした。バスの中や宿で，家族同志が情報交換し，ねむい目をこすりながら，家族会に活性化について，真剣に議論もしました。

石家連は，他県の活力ある家族会活動のように急速な発展は困難ですが，今年の事業を振り返りますと，一歩一歩，前進しているように思います。前会長が提案された「講演と映画の会」は準備など大変ですが，マスコミを通しての一般の方々への広がりもあり，家族会の広報活動及活動の大切さを再確認しました。そして心病む人々に対する偏見の眼も開いていくように思えます。互いに力を合わせて地道に活動を続けましょう。…… つないだ手のぬくもりを明日につなげよう！







いしかれんだより第4号□1998年12月

いしかれん
だより
第3号

平成元年　8月15日発行
発行人　道野利雄
編集人　林　久夫
発行所　石川県精神障害者
家族会連合会

心病む人々とともに

石川県精神障害者家族会連合会
会長　道野利雄

このたび、宮保前会長の後任として、石川県精神障害者家族会連合会の会長をお引受けしましたが、無学無才の者であり、非常に困惑しております。地元小松で、地域家族会くろゆり会会長としての活動も千十分でしたので、身に余る大役です。くろゆり会では、精神保健法の改正にあたり、小松保健所長はじめ関係部課長の皆

いしかれんだより第3号□1989年8月

いしかれん
だより
第2号

昭和63年12月15日発行
発行人　宮保勇夫
編集人　林　久夫
発行所　石川県精神障害者
家族会連合会

われわれの課題

石川県精神障害者家族会連合会
会長　宮保勇夫

「ともに生き　ともに歩む　社会に向かって」が、今度の第21回全国大会のテーマであったことは、皆さんご承知のことと思います。そして、これは、まことに胸をうつ協調的な言葉だということができるでしょう。しかし、この言葉についての、人々の思いは必ずしも同じでないかもしれません。それは、このテーマを具体的に推進しようとすると、われわれはいろいろな問題に行き当たるからだと思います。

いしかれんだより第2号□1988年12月

いしかれん
だより

昭和63年8月15日発行
発行人　宮保勇夫
編集人　林　久夫
発行所　石川県精神障害者
家族会連合会

会報「いしかれんだより」の
発刊に当って

石川県精神障害者家族会連合会
会長　宮保勇夫

われわれ「石家連」の会報を発行することについては、かねて企画しながらも、実現できないでいましたところ、今年度石家連総会で決まった会報発行計画につき、県精神保健センターの格別のご指導ご支援を戴いたお陰で、ここに会報「いしかれんだより」の発行ができることになったことは、まことに感謝にたえないところであります。

「いしかれんだより」は、当分、年間2回発行の予定ですが、会員のみなさん、どう

いしかれんだより創刊号□1988年8月